



11/2 合唱コンクールを終えて

審査委員長の小林先生から「凛とした態度、伸び伸びとした歌声、きちんととれた音程、補い合い生かし合うパート、・・・」など多くのお褒めの言葉をいただきました。『只今伸び盛りの赤塚中は永遠に不滅です。』そう実感した心豊かなひとときでした。

<金賞・銀賞受賞学級代表から>



1年2組 塙さん:私は課題曲の伴奏をやって、練習で皆と合せているとき、途中で止まったり、音を間違ってしまったけど、本番は止まらないで弾くことができました。金賞をとることができてとても嬉しかったです。

1年4組 笹嶋さん:自由曲の「輝くために」はリズムをとるのが難しく最初は大変でした。しかし、朝や昼、放課後などたくさん練習していくうちにリズムを取り慣れてきて少しずつ上達しました。本番はとても緊張しましたが練習の成果を発揮し、銀賞をとることができました。少し悔しかったけど、賞を取れて嬉しかったです。

2年1組 木城さん:最初は男女の音程が合わず、きれいなメロディーをつくりあげることができませんでした。しかし、クラスでは百回歌うことを目標とし、パート練習では、ソプラノ・アルト・テノールに分かれ、パートごとに課題を一つ一つ見つけていき、何回も歌うことによって課題を克服してきました。本番当日では、皆の努力が実り、金賞を取ることができました。

2年2組 齊藤さん:私たちはクラス全体で話し合いをしたり、各パートで工夫したりして徐々に合唱を作り上げていきました。惜しくも金賞は取れませんでしたでしたが、練習の成果を出し、銀賞をとることができてよかったです。

3年3組 大澤さん:私たちは自由曲「信じる」のように、互いを信じ合い練習を積み重ねてきました。金賞を勝ち取りとても嬉しかったです。残り少ない日々をみんなと充実させていきたいと思っています。

3年4組 寺門さん:最後の合唱コンクールは最高の思い出となりました。課題曲の「いつまでも」は息のつなぎ方に苦戦しました。自由曲の「ヒカリ」は抑揚をつけるのが大変でした。でも最後は、クラス全員で団結して金賞をとることができました。受験もこの勢いで乗り切りたいです。

<最優秀指揮者賞・最優秀伴奏者賞受賞者から>

1年4組 園部さん:私は自分らしい指揮を見つけるまでにごく時間がかかってしまいました。たくさん練習し、気持ちが整ったままコンクールに出ることができました。本番では緊張し、体中が震えていましたが、1年4組のみんなを見て、堂々と指揮を振ることができました。

1年1組 高安さん:私は「マイバラード」で最優秀伴奏者賞が取れてとても嬉しかったです。盛り上げるところは音を強くして、歌を歌う人や指揮と合わせて弾くことができました。練習してよかったなと思いました。

2年2組 笹嶋さん:最初はどんな指揮にすればいいのか分からなかったけど、先生や友達にアドバイスをもらい、たくさん練習しました。その結果、最優秀指揮者賞に選ばれることができ、とてもいい合唱コンクールになりました。

2年3組 岩崎さん:自由曲「HEIWAの鐘」は、間奏部分が難しい曲だったので、たくさん練習を積み重ねました。当日の演奏は指揮者をよく見て皆の歌に合わせ、クラスメートのアドバイスのおかげで今回受賞することができ、嬉しかったです。

3年2組 高野さん:中学校生活最後の合唱コンクールで伴奏者賞を取れてとても嬉しかったです。最初は指揮者とリズムが合わなかったり、音を間違えたりしてしまいました。でも、日々練習を重ね本番では今までの成果が発揮できた伴奏ができました。クラスの結果は残念ながら金賞を逃してしまったけど、皆で団結して思い出深いものになりました。「手紙」を弾けてよかったです。3年2組でよかったです。

3年4組 武田さん:中学生最後の合唱コンクールは1、2年生のときと違って何倍も緊張しました。練習のときは男女の声がなかなか合わず、指揮もよくできませんでした。しかし、全員で工夫をし、練習を重ね金賞を取るために4組らしく頑張りました。本番では今まで一番団結した合唱ができて金賞と最優秀賞それに指揮者賞も取れてとてもびっくりしました。全てみんなで取った中学生最後の金賞だったのでとてもうれしかったです。よい思い出になりました。



